

平成 27 年 6 月 30 日

## 滋賀県がん診療連携協議会

### 平成 27 年度 第 1 回 がん登録推進部会 議事概要

- 日 時： 平成 27 年（2015 年）6 月 30 日（火） 16：00～17：30
- 場 所： 滋賀県立成人病センター 東館講堂
- 出席者： 目片英治、中川聖子（滋賀医科大学医学部附属病院）  
廣瀬哲朗、森明子（大津赤十字病院）  
沖野孝、小嶋一夫（公立甲賀病院）  
寺村康史、志井千明（彦根市立病院）  
東出俊一、川瀬由美子（市立長浜病院）  
大橋信也（高島市民病院）  
木原明生、寺田貴子、森山都子（大津市民病院）  
森谷季吉、福山歩美（草津総合病院）  
福森亮介（済生会滋賀県病院）  
大西真（近江八幡市立総合医療センター）  
楠井隆、吉田孝子（長浜赤十字病院）  
代 居松建治（東近江総合医療センター）  
水田和彦、田中一史、打田拓也（滋賀県立成人病センター）
- 欠席者： 鈴木聡（高島市民病院）  
土屋邦之（近江八幡市立総合医療センター）  
堤千晴（東近江総合医療センター）  
豊田博進（滋賀県健康医療福祉部健康医療課）
- オブザーバー： 八木政廣（滋賀県がん患者団体連絡協議会）  
大橋依子（市立長浜病院）  
米澤寿裕（滋賀県立成人病センター）

（敬称略）

#### 【議題等】

1. 部会長の挨拶
2. 新委員紹介【資料①】
3. 平成 27 年度事業計画について【資料②】

#### ① 部会

今年度も部会を 3 回開催する。（日程は調整済み）

- ・ 第 1 回 平成 27 年 6 月 30 日（火）16 時 00 分～
- ・ 第 2 回 平成 27 年 10 月 19 日（月）16 時 00 分～
- ・ 第 3 回 平成 28 年 2 月 8 日（月）16 時 00 分～

## ② 研修会

- ◆ 昨年度の全国集計提出データ相互チェックの結果から、一部の病理組織型形態コードに施設ごとの偏りがあると推測されること、希少がん治療施設検索等を目的とした「施設別がん登録数検索システム」が稼働しており病理組織型形態コードの精度が重要となっていることから、病理組織型コーディングを中心とした研修会を開催する。
- ◆ 講師は、三重県の地域がん登録を担当されている三重大学医学部附属病院病理部・がんセンターの福留寿生先生に依頼する。(詳細日程は講師と調整)
- ◆ 病理医および臨床医にも参加を募る。特に第2回は病理医や臨床医にがん登録について理解を深めてもらうための講義内容とする。

- ・ 第1回 平成27年8月\_\_\_\_日(成人病センター)  
テーマ：がん登録実務のための病理診断の読み方(仮題)  
講師：三重大学医学部附属病院病理部・がんセンター  
兼 三重県地域がん登録室 福留寿生先生
- ・ 第2回 平成27年11月\_\_\_\_日(成人病センター)  
テーマ：がん登録と病理診断 ～全国がん登録にむけて～(仮題)  
講師：三重大学医学部附属病院病理部・がんセンター  
兼 三重県地域がん登録室 福留寿生先生  
**★病理医および臨床医にも参加を募る**
- ・ 第3回 平成28年2月\_\_\_\_日(成人病センター)  
テーマ：がん登録実務のための病理診断の読み方(仮題)  
講師：三重大学医学部附属病院病理部・がんセンター  
兼 三重県地域がん登録室 福留寿生先生

## ③ 相談会

- ◆ 今年度も3回開催する。会場は、各拠点病院にご協力をお願いする。
- ◆ 全国集計提出前相互チェックに関連して、意見交換し、理解を深める。
- ◆ 第3回では、平成28年1月から始まる「全国がん登録」の登録項目や登録方法について確認を行う。

- ・ 第1回 平成27年8月\_\_\_\_日( )  
テーマ：データ提出前の相互チェック
- ・ 第2回 平成27年10月\_\_\_\_日( )  
テーマ：相互チェックの結果まとめ
- ・ 第3回 平成27年12月\_\_\_\_日( )  
テーマ：全国がん登録について

#### ④ 2014 年全国集計提出前チェック

- ◆ 例年どおり、提出前にデータ収集し、相互チェックを行う。
- ◆ 今年度は、拠点病院は9月末、支援病院は10月末がデータ提出締切りとなるので、8月下旬にデータ収集し相互チェックを行う。

#### ⑤ 2014 年全国集計提出後収集

- ◆ 例年どおり、全国集計に提出したデータを事務局に収集する。

#### ⑥ 各医療機関におけるデータ活用事例の報告

- ◆ 昨年度あまり事例がなかったが、今年度も活用事例の報告を行うこととする。

### 4. 平成 27 年度院内がん登録の状況調査結果について【資料③】

- ◆ 県内の拠点・支援病院の院内がん登録の状況について、実務者数や研修受講状況、全国集計へのデータ提出件数等の調査を行った。各医療機関の状況を情報共有するとともに、院内での体制整備などを行う際に参考になると考える。

### 5. 2008～2013 年全国集計提出後収集データの集計について【資料④】

- ◆ 2008～2013 年の診断区分別および症例区分別集計、2012～2013 年の部位別各医療機関構成比を示し、滋賀県がん診療連携協議会ホームページへの公開について審議した。
- ◆ 患者が医療機関を選択する際の目安になり、データが公開されることを望んでいるという意見が出たが、がん登録情報をもとに国のがん対策の基本である「がん医療の均てん化」をどのように実現していくか、県レベルでの十分な検討もなされていない状況で、単に診断・治療件数を公表しては誤解を招きかねない。
- ◆ 単なる件数の公開は、件数の多い医療機関に患者を誘導してしまう可能性があり、件数に関わらず近隣でも同品質の医療が受けられる医療機関があることを示すことのほうが患者に有益である。
- ◆ 単なる件数だけではなく質のわかる情報という「生存率」ということになるが、これについても慎重に取り組む必要がある。
- ◆ 各医療機関においてがん登録データがほとんど活用されていない状況である。もっと情報活用し、解析した結果を公開するようにすべきである。
- ◆ このまま一般公開することはまだ無理であるが、各病院のがん相談支援センターで相談員に（情報の質や意味を十分説明したうえで）活用してもらうことは想定できる。
- ◆ 患者が情報公開を求めていることを十分理解したうえで、誤解や混乱を招かないような説明や対策も含めて、今後も引き続き情報公開について審議を継続することとする。

6. 今年度のPDCAについて【資料⑤】

「病理診断コードの精度管理」

2013年データのばらつきについて、研修会内容と併せて前後の傾向を確認

→ばらつきの要因を解析し、標準化を図る

- ◆ 2013年全国集計提出データについて、原発部位別に組織診断名コードの分布を見ると、医療機関により偏りやばらつきがあることがわかったので、実務者により再確認を行うとともに、今年度の研修会で学習を深め、標準化を図る。
- ◆ 「施設別がん登録数検索システム」がすでに稼働しており、患者さんへ情報提供されていることから、組織診断名コーディングの質を担保する必要がある。

7. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告【資料⑥】

- ◆ 平成27年6月6日に国立がん研究センターで開催された平成27年度都道府県がん診療拠点病院連絡協議会がん登録部会の概要等について報告を行った。

8. 全国がん登録について【資料⑦】

- ◆ 全国がん登録について現時点でわかっていることを報告した
- ◆ 政省令は7月末頃に出る予定であり、詳細がわかり次第、県と成人病センターが協力して説明会を行う予定である。

9. その他

以上